



- 明治43年 (1910) 200万分の1大日本帝国地質図刊行
- 大正4年 (1915) 40万分の1地質図完成
- 大正8年 (1919) 20万分の1地質図幅作成完了
- 大正10年 (1921) 7万5千分の1地質図幅調査に着手
- 昭和17年 (1942) 軍需省所属期間中地質図幅の作成を中止
- 昭和21年 (1946) 7万5千分の1地質図幅の調査を再開
82図出版 3図調査済
- 昭和24年 (1949) 5万分の1地質図幅作成に着手 29図出版
- 昭和25年 (1950) 50万分の1地質図幅編さんに着手 5図出版
1図編さん終了
- 昭和28年 (1953) 300万分の1日本地質図出版

地質調査所図幅調査事業の歩み

- 明治14年 (1881) 内務省地理局地質課で20万分の1地質図幅作成に着手
- 明治15年2月 (1882) 地質調査所創立
20万分の1地質図幅調査続行
- 明治31年 (1893) 100万分の1大日本帝国地質全図刊行

- ◇ 未調査図幅数 (海域を含む図幅は図幅全域がすべて陸地となるよう幾つかを組み合わせる)
北海道地域 約180図 (既存の10万分の1地質図幅完成地域も今後5万分の1地質図幅で調査するものとして)
- 本州・九州・四国地域 約550図 (7万5千分の1地質図幅調査地域は除く)
- ◇ 現状のまま推移した場合、日本全国の地質図幅完成の期限は
北海道地域 約10年後に完成
本州・九州・四国地域 約35年後に完成

砂岩と頁岩の互層 (堆積岩)



縞状片麻岩 (變成岩)

